

3シリーズMDO vs. MDO3000シリーズ

製品比較シート

スクリーン・サイズと波形表示領域

3シリーズMDO

11.1型の波形表示領域



11.6型 67% 広い
HD 1920 x 1080 2倍以上

MDO3000シリーズ

8.3型の波形表示領域



9型
VGA 800 x 480

低ノイズ・プリアンプ - ランダム・ノイズ

3シリーズMDO (代表値)

MDO3000シリーズ (代表値)

100 MHz	98 μ V	161 μ V
200 MHz	111 μ V	178 μ V

最新の工業デザイン

プローブの取り回しが容易なチャンネル間隔

小さな設置面積



LEDボタン表示

3 USBホスト + HDMI ポート

前方に傾けても倒れない脚

次世代ユーザ・インタフェース

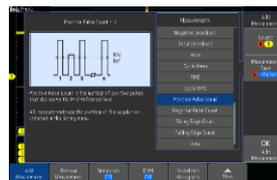
3シリーズMDO

- ピンチ、スワイプ、タップ操作が可能な静電容量式タッチスクリーン
- ポジション、スケールは、ピンチまたはドラッグ、または操作ノブで変更
- 設定変更は、リードアウトをダブル・タップするだけ



MDO3000シリーズ

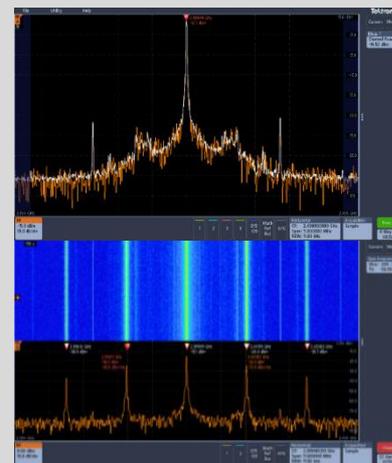
- 下部、側面のベゼル・ボタンによる前面パネルボタン
- ポジション、スケールは操作ノブで変更
- 設定変更は、前面パネルのボタンを押し、ベゼル・ボタンを押して設定を変更



独自の内蔵スペクトラム・アナライザ

3シリーズMDO

- 全機種で1GHzのハードウェア・スペクトラム・アナライザを標準で装備、IoT、EMIテストに最適
- オプションで3GHzのスペクトラム・アナライザ



MDO3000シリーズ

- オシロスコープのアナログ帯域までのハードウェア・スペクトラム・アナライザを標準で装備
- オプションで3GHzのスペクトラム・アナライザ

3シリーズMDO vs. MDO3000シリーズ

製品比較シート



主な仕様の比較		
	テクトロニクス 3シリーズMDO	テクトロニクス MDO3000シリーズ
チャンネル数	2 または 4	
周波数帯域	100、200、350、500MHz または 1GHz (アップグレード可能)	
アナログ・チャンネルの最高サンプル・レート (全チャンネル同時)	2.5GS/s または 5GS/s	
最大レコード長 (全チャンネル同時)	10Mポイント	
デジタル・チャンネル数	16 (オプション)	
統合スペクトラム・アナライザ	RFハードウェアベース 9kHz ~ 1GHz (標準) または 3GHz (オプション)	RFハードウェアベース 9kHz ~ アナログ帯域 (標準) または 3GHz (オプション)
統合任意波形ジェネレータ	50MHz (オプション)	
シリアル・バスのトリガ/解析	オプション : I ² C、SPI、RS232/422/485/UART CAN、CAN-FD、LIN、FlexRay、MIL-STD-1553、I2S/LJ/RJ/TDM、USB	
付属のプロローブ	TPP0250型 (100MHz/200MHz機種)、TPP0500B型 (350MHz/500MHz機種) TPP1000型 (1GHz機種)	
ディスプレイ	11.6型、HD 1920 x 1080	9型、VGA 800 x 480
静電容量式マルチジェスチャ・タッチスクリーン	○	×
I/Oポート	USB 2.0: ホスト・ポート×3 + デバイス・ポート×1 LAN HDMI ビデオ	USB 2.0: ホスト・ポート×2 + デバイス・ポート×1 LAN VGA ビデオ
設置面積	549cm²	613cm ²